

「平成 28 年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料 1】 平成 28 年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況<地図> 1

【資料 2】 経常収支比率の対前年度比較 2

(2) 実質公債費比率の状況

【資料 3】 平成 28 年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図> 3

【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較 4

(3) 将来負担比率の状況

【資料 5】 平成 28 年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図> 5

【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較 6

(4) 税徴収率の状況

【資料 7】 平成 28 年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況<地図> 7

【資料 8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 8

【資料 9】 平成 28 年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図> 9

【資料 10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 10

【資料 11】 特別徴収実施率の対前年度比較 11

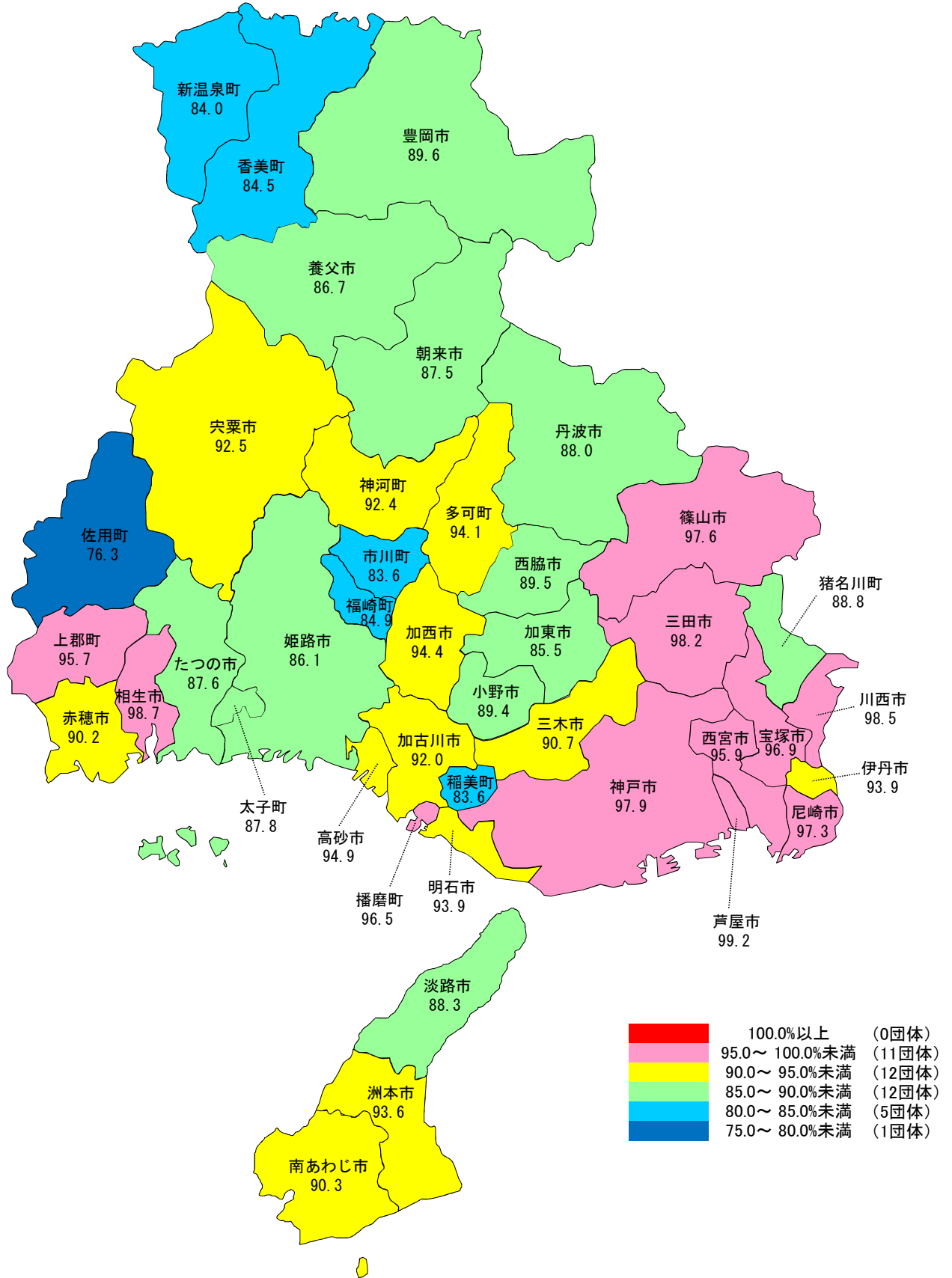
※ 参考

【参考資料①】 平成 28 年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図> 12

【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較 13

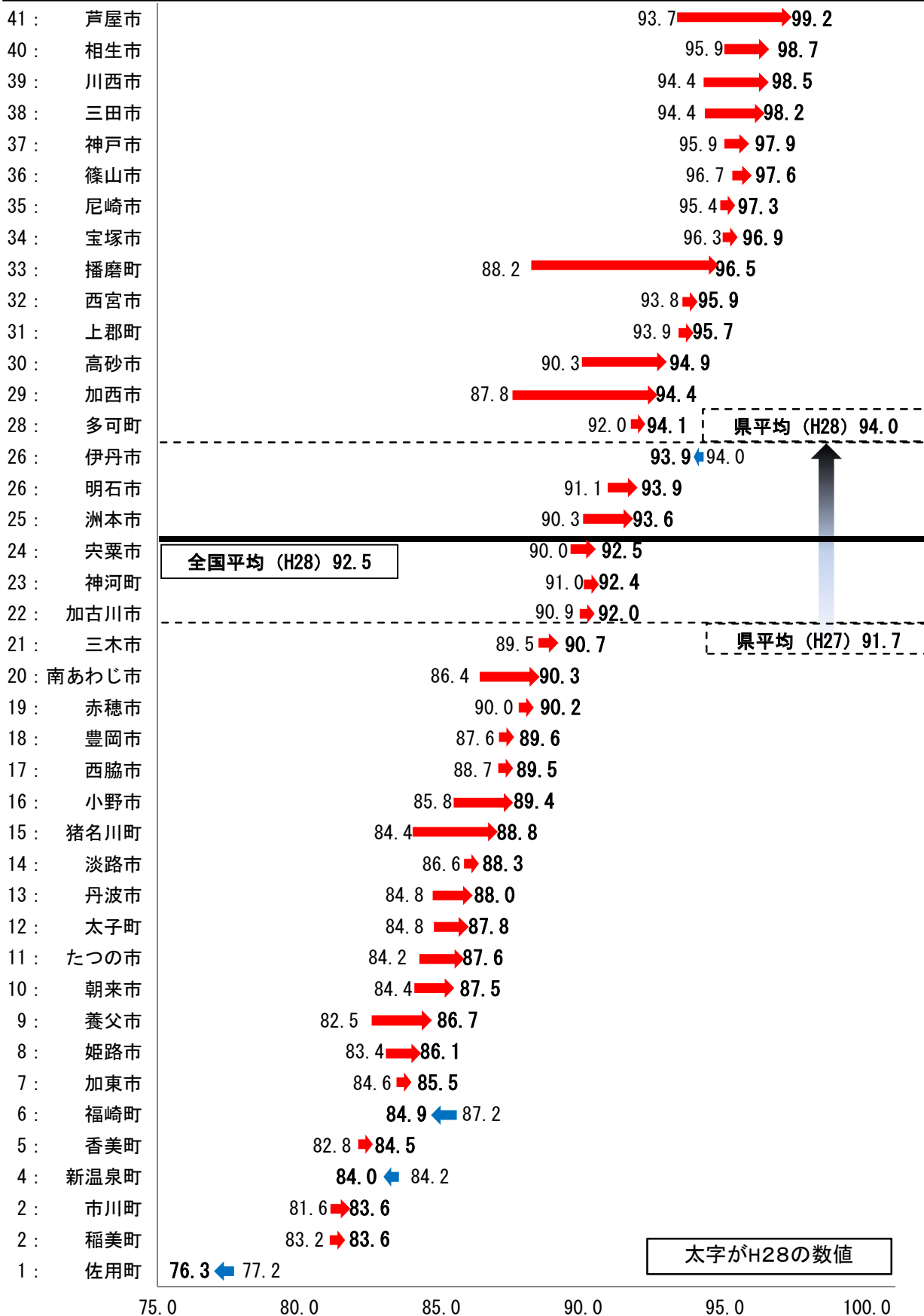
平成28年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況

○平成28年度の経常収支比率の県内市町平均は94.0%(H28全国平均は92.5%)。
 ○経常収支比率が最も高い団体は、市では芦屋市(99.2%)、町では播磨町(96.5%)。
 ○経常収支比率が最も低い団体は、市では加東市(85.5%)、町では佐用町(76.3%)。



経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは4団体、比率が増加したのは37団体。
 ■最も減少したのは、市では伊丹市(▲0.1%)、町では福崎町(▲2.3%)
 ■最も増加したのは、市では加西市(6.6%)、町では播磨町(8.3%)

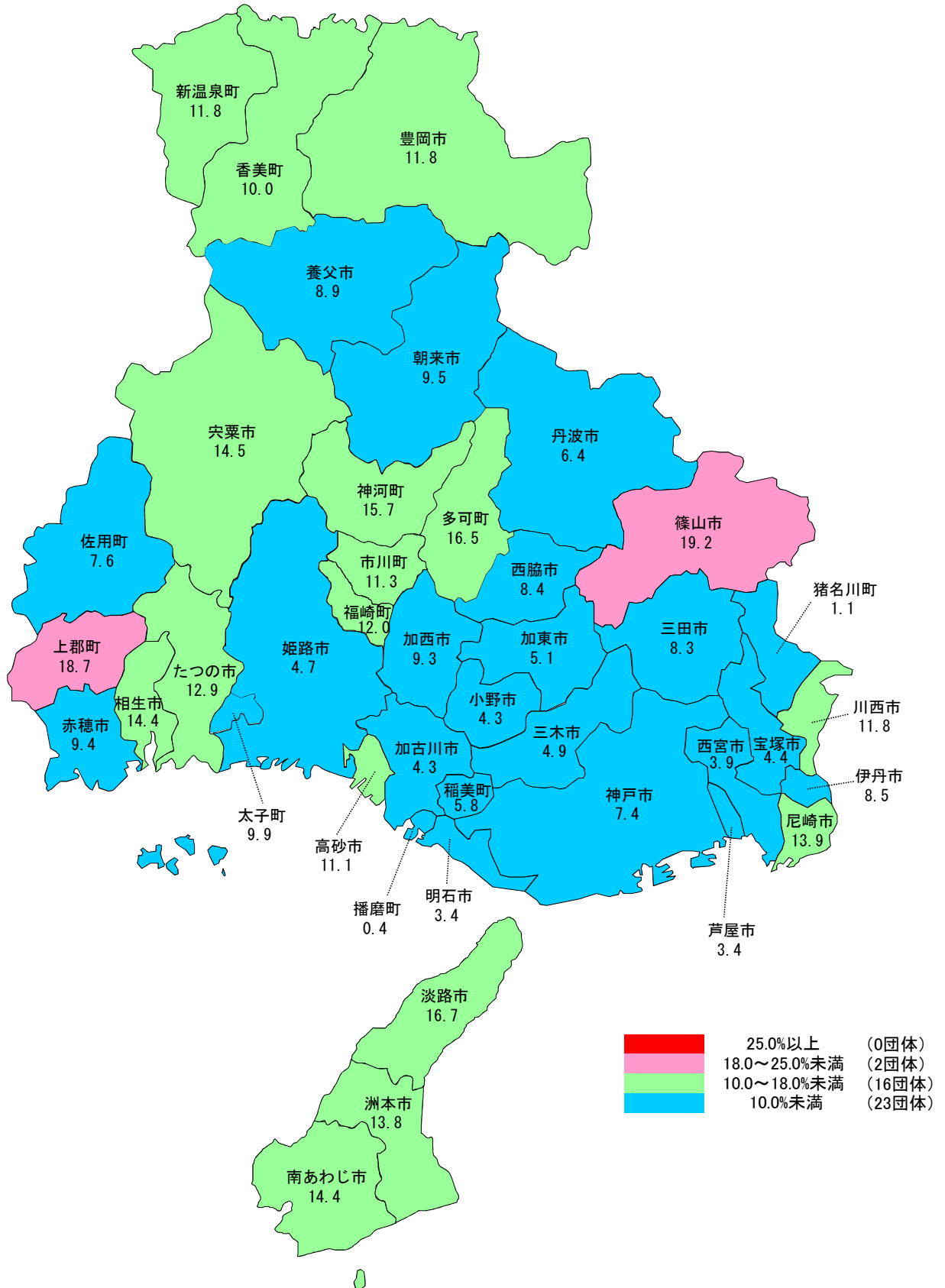


平成28年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

○平成28年度の実質公債費比率の県内市町平均は7.9%（H28全国平均は6.9%）。

○実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、篠山市（19.2%）、上郡町（18.7%）の2団体。

○実質公債費比率が18%未満※3の団体は、39市町となった。



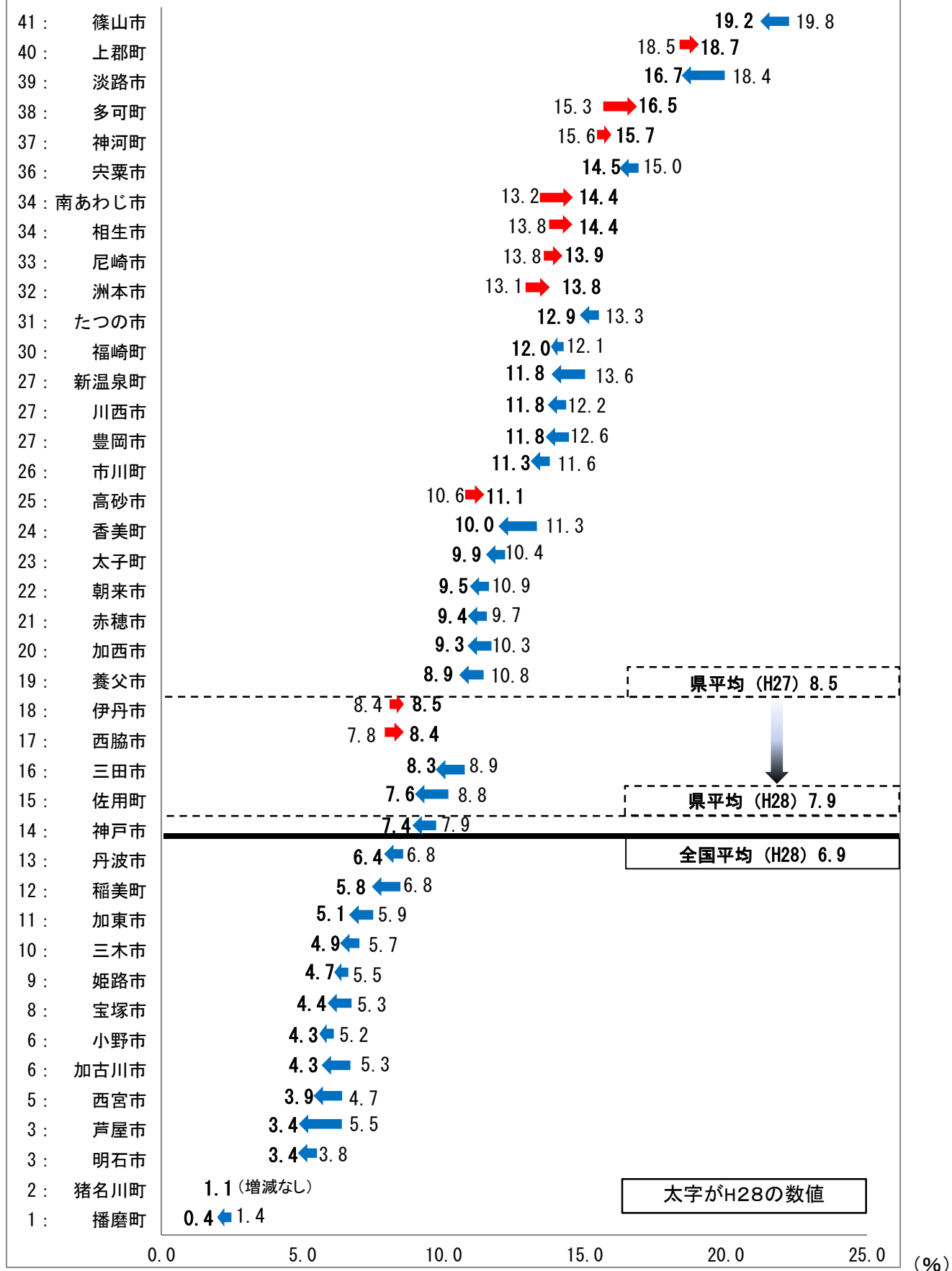
※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債が許可される。

※3 実質公債費比率が18%未満（実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等）の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

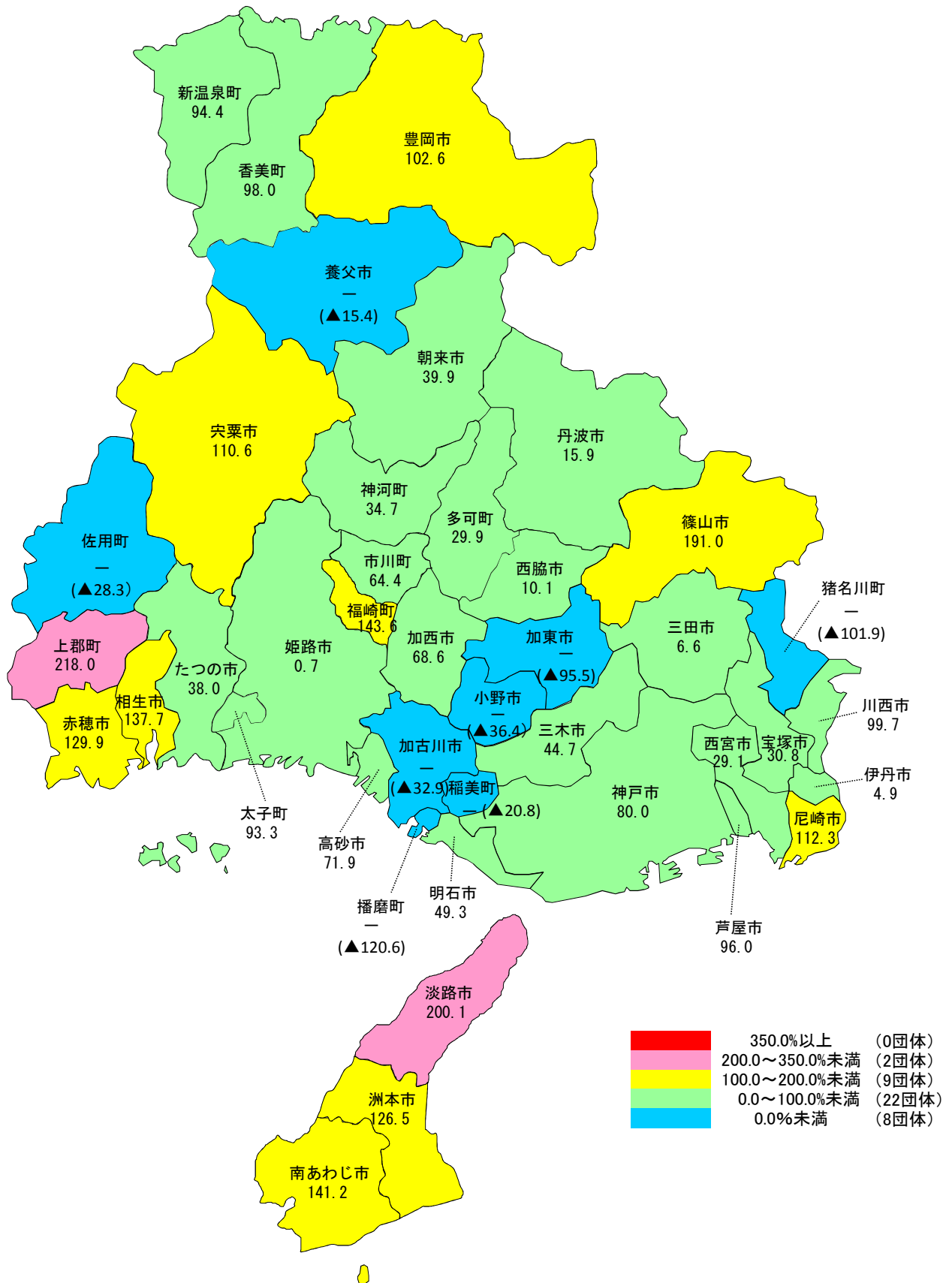
- 前年度から比率が減少したのは30団体、比率が増加したのは10団体、1団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲2.1%)、町では香美町(▲1.8%)
- 最も増加したのは、市では南あわじ市(1.2%)、町では多可町(1.2%)



平成28年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

○平成28年度将来負担比率の県内市町平均は57.2%(H28全国平均は34.5%)。

○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)※1の団体はない。200%を超える団体は、淡路市(200.1%)、上郡町(218.0%)の2市町。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など8市町。

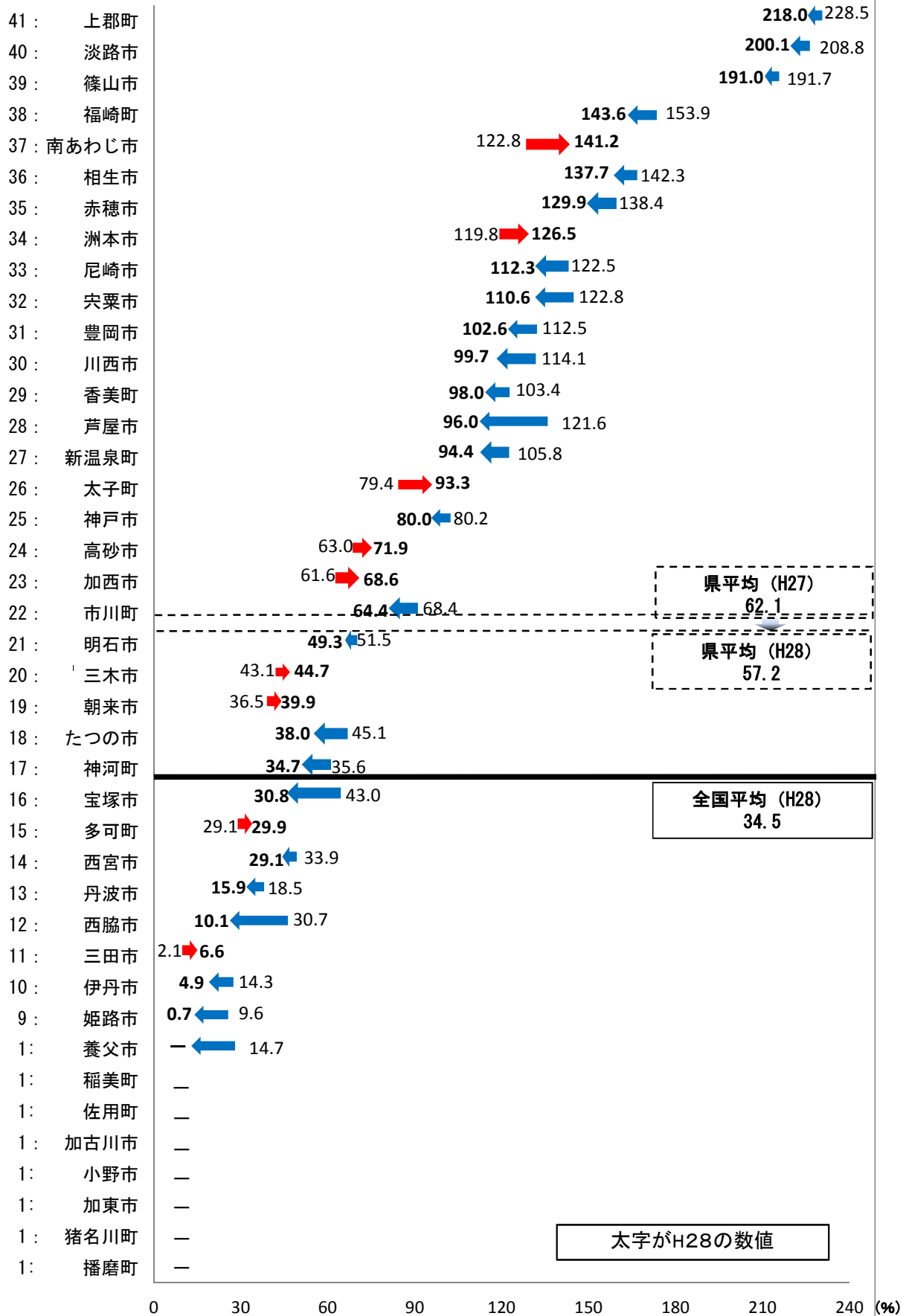


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「—」で表示。(下段括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

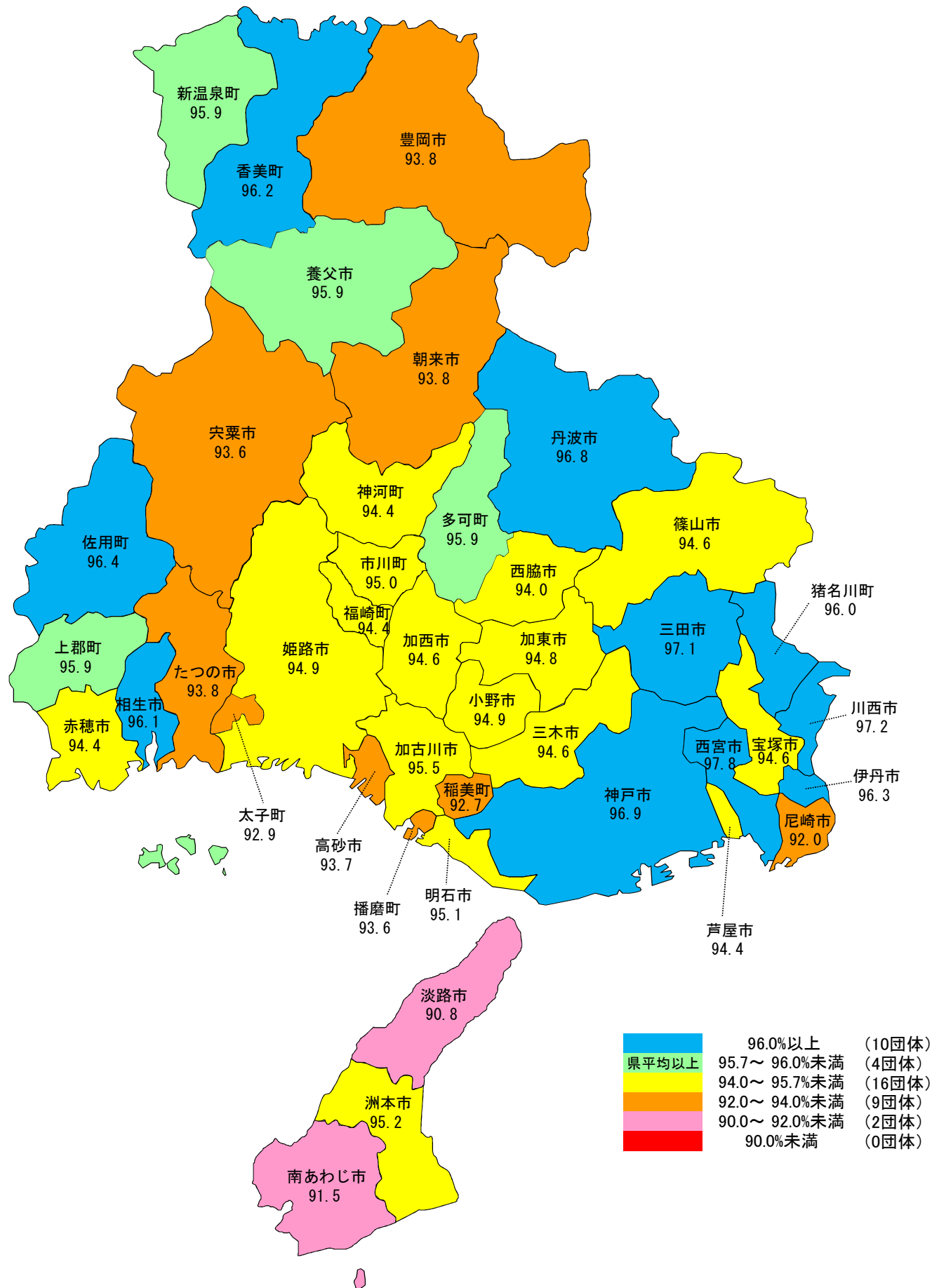
- 前年度から比率が減少したのは25団体、比率が増加したのは9団体
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲25.6%)、町では新温泉町(▲11.4%)
- 最も増加したのは、市では南あわじ市(18.4%)、町では太子町(13.9%)



太字がH28の数値

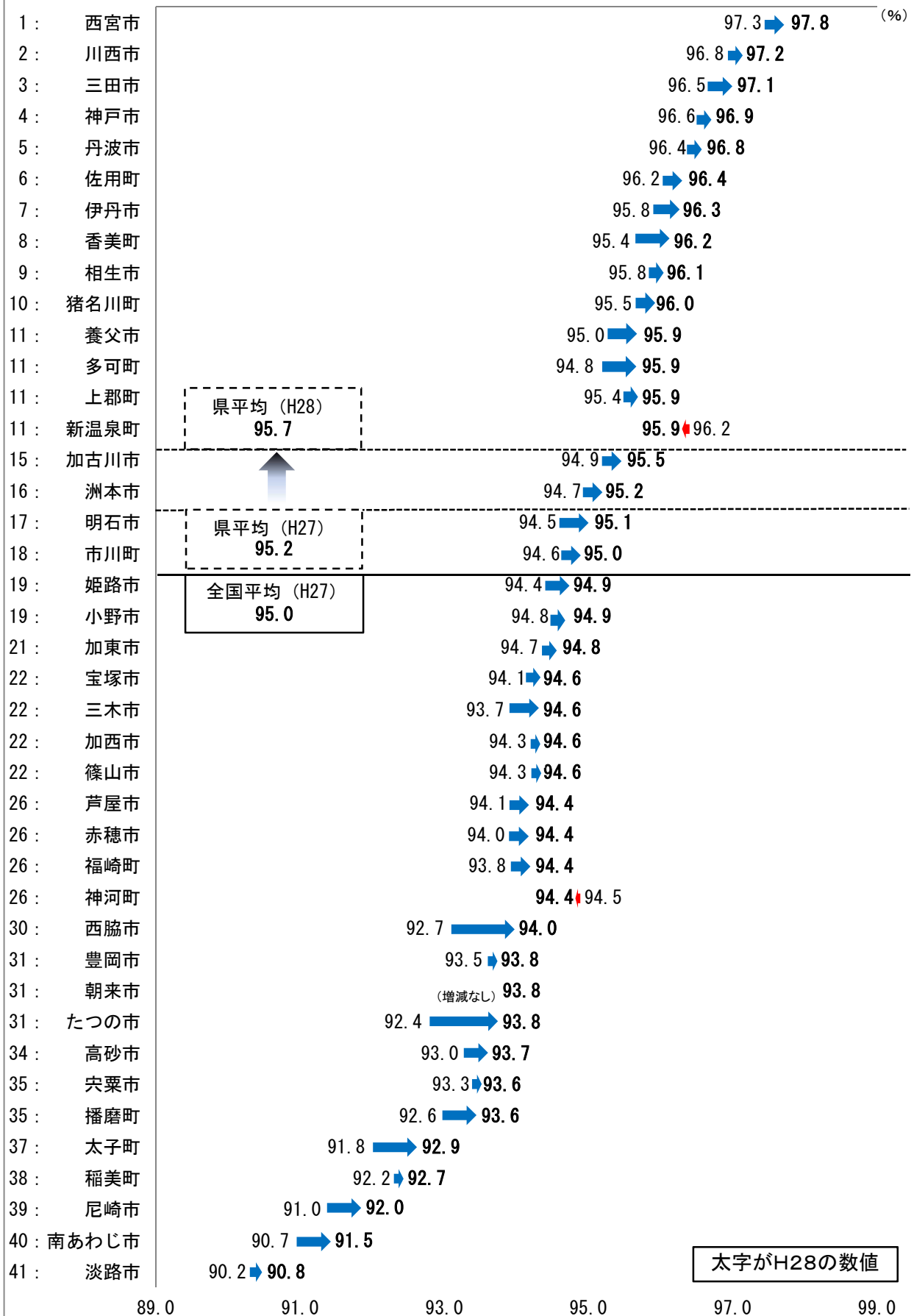
平成28年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

- 徴収率の県平均は95.7% (H27県平均95.2%)
- 県平均を超えているのは14団体(H27県平均を超えていたのは12団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(97.8%)、町では佐用町(96.4%)



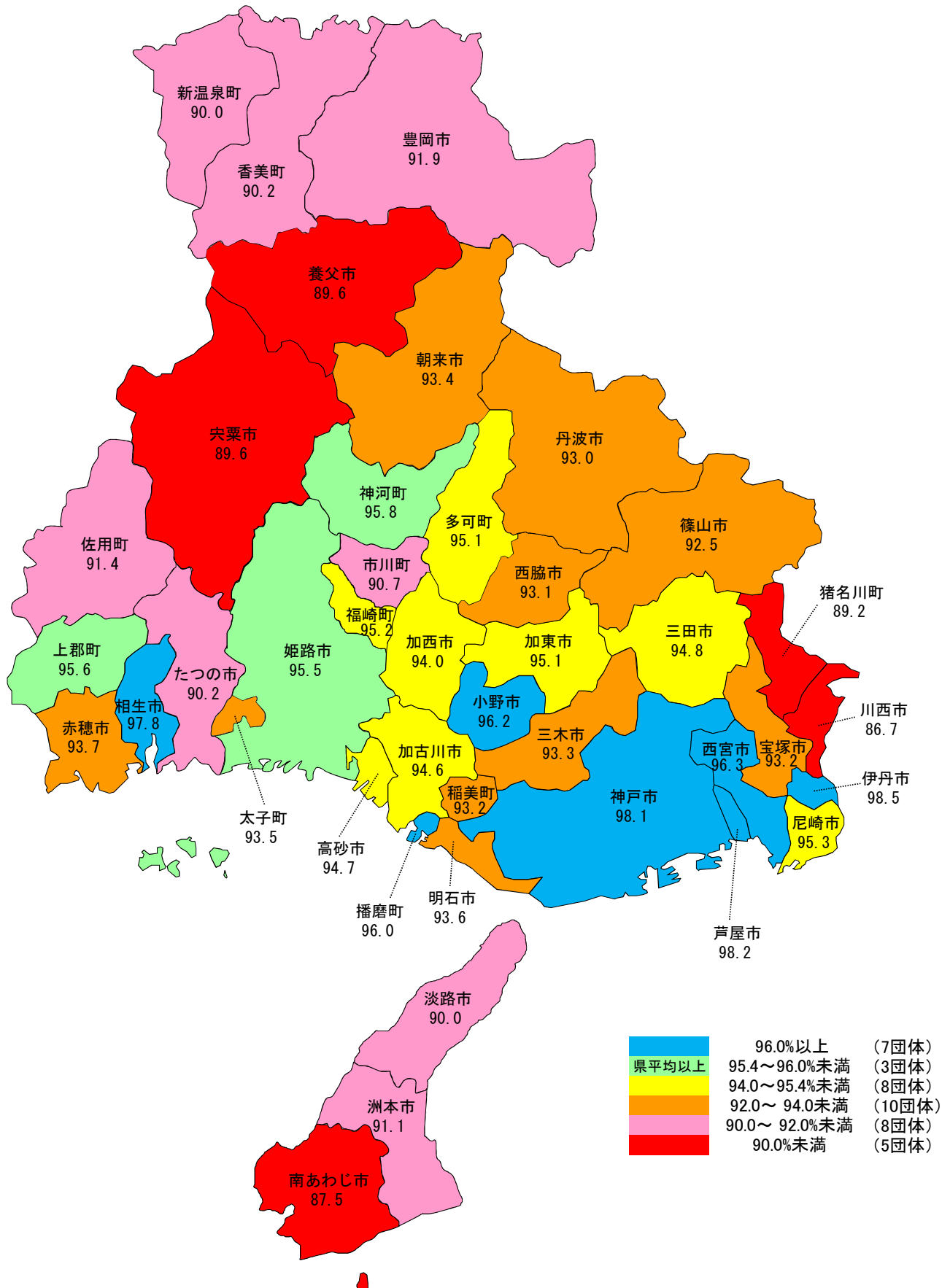
徴収率(個人住民税)の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは2団体、徴収率が増加したのは38団体。
 ■最も増加したのはたつの市(1.4%)、最も減少したのは新温泉町(▲0.3%)。



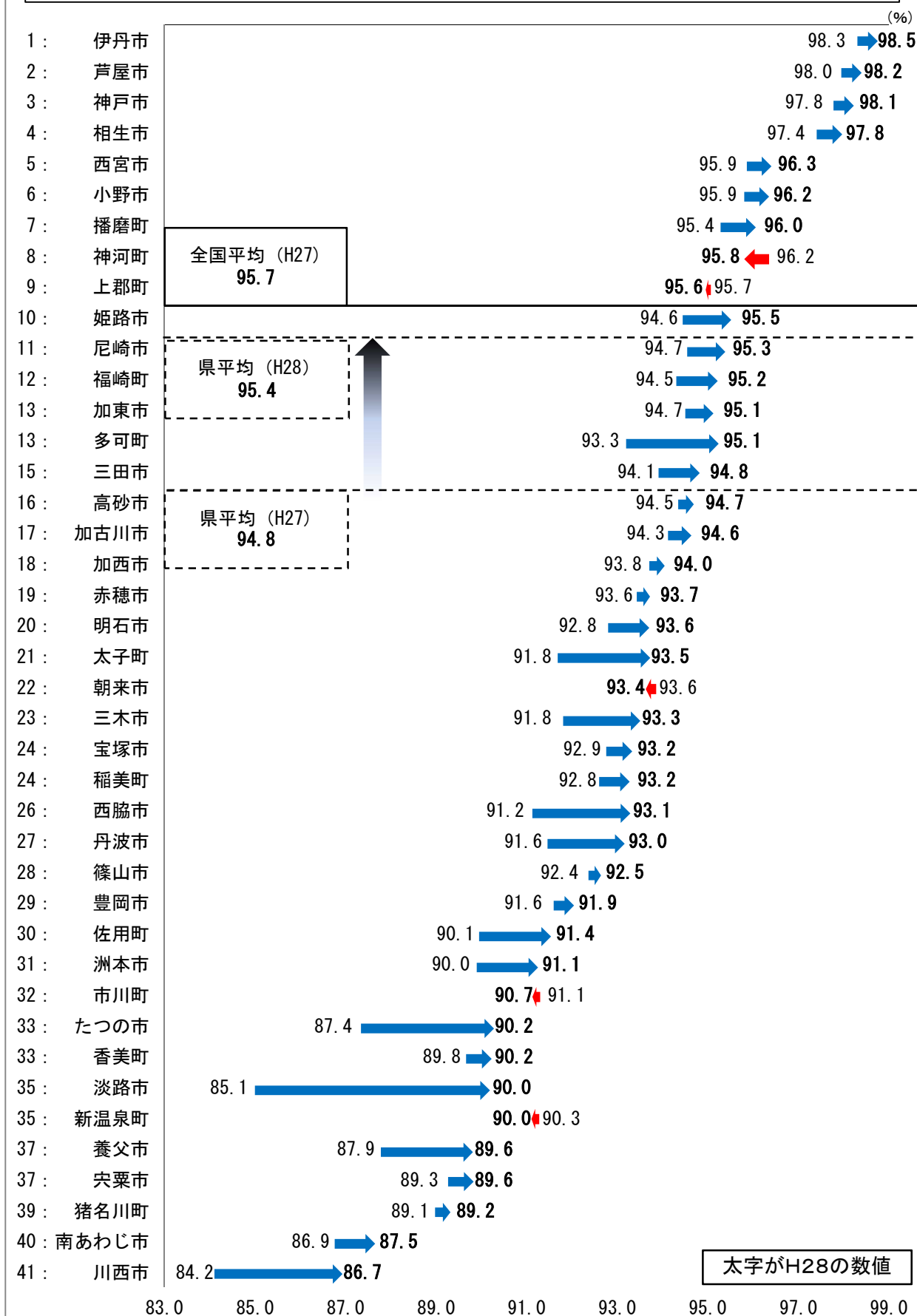
平成28年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は95.4% (H27県平均94.8%)
- 県平均を超えているのは8団体(H27県平均を超えていたのは8団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(98.5%)、町では播磨町(96.0%)



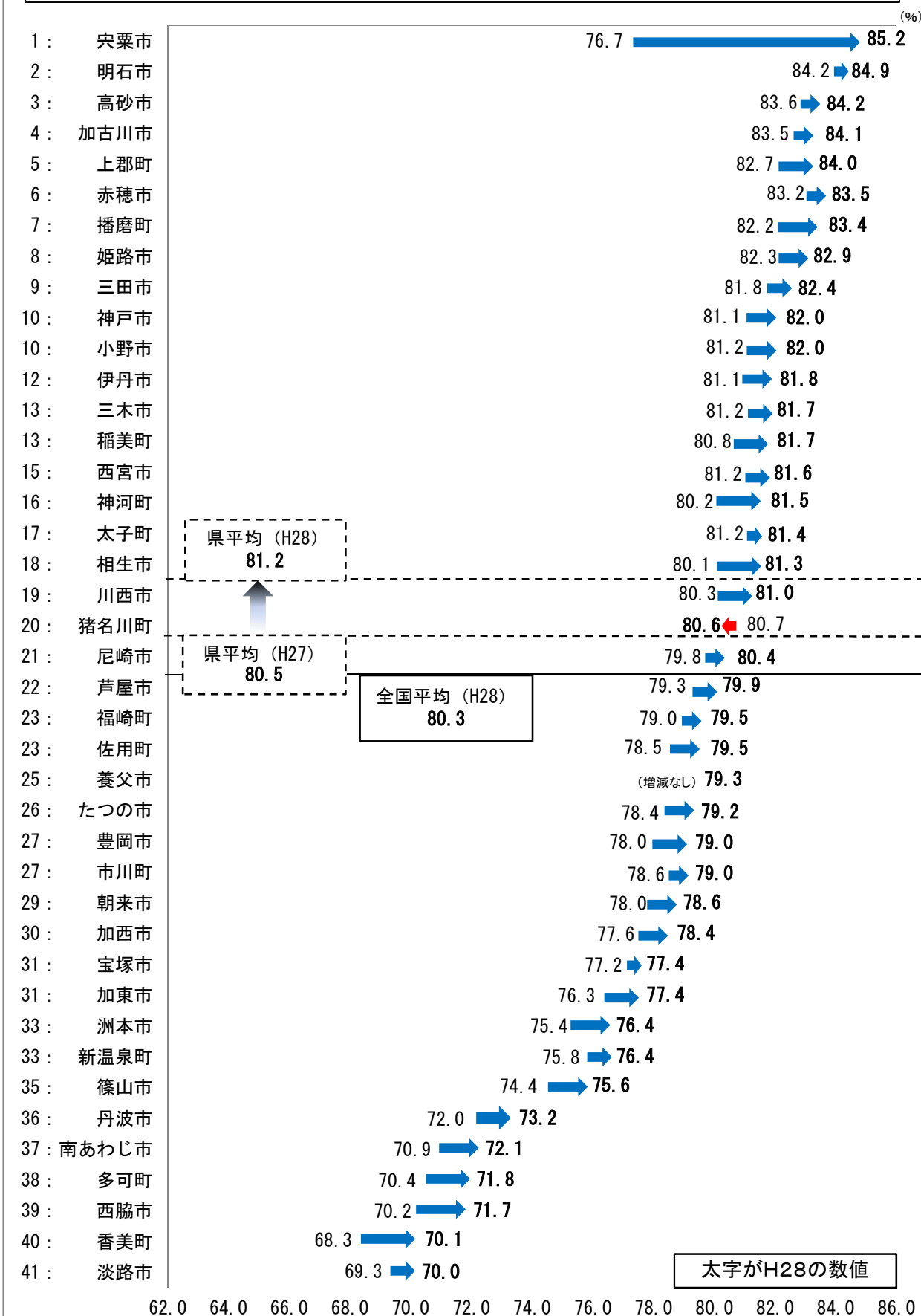
徴収率(固定資産税)の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは5団体、徴収率が増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは淡路市(4.9%)、最も減少したのは市川町と神河町(▲0.4%)。



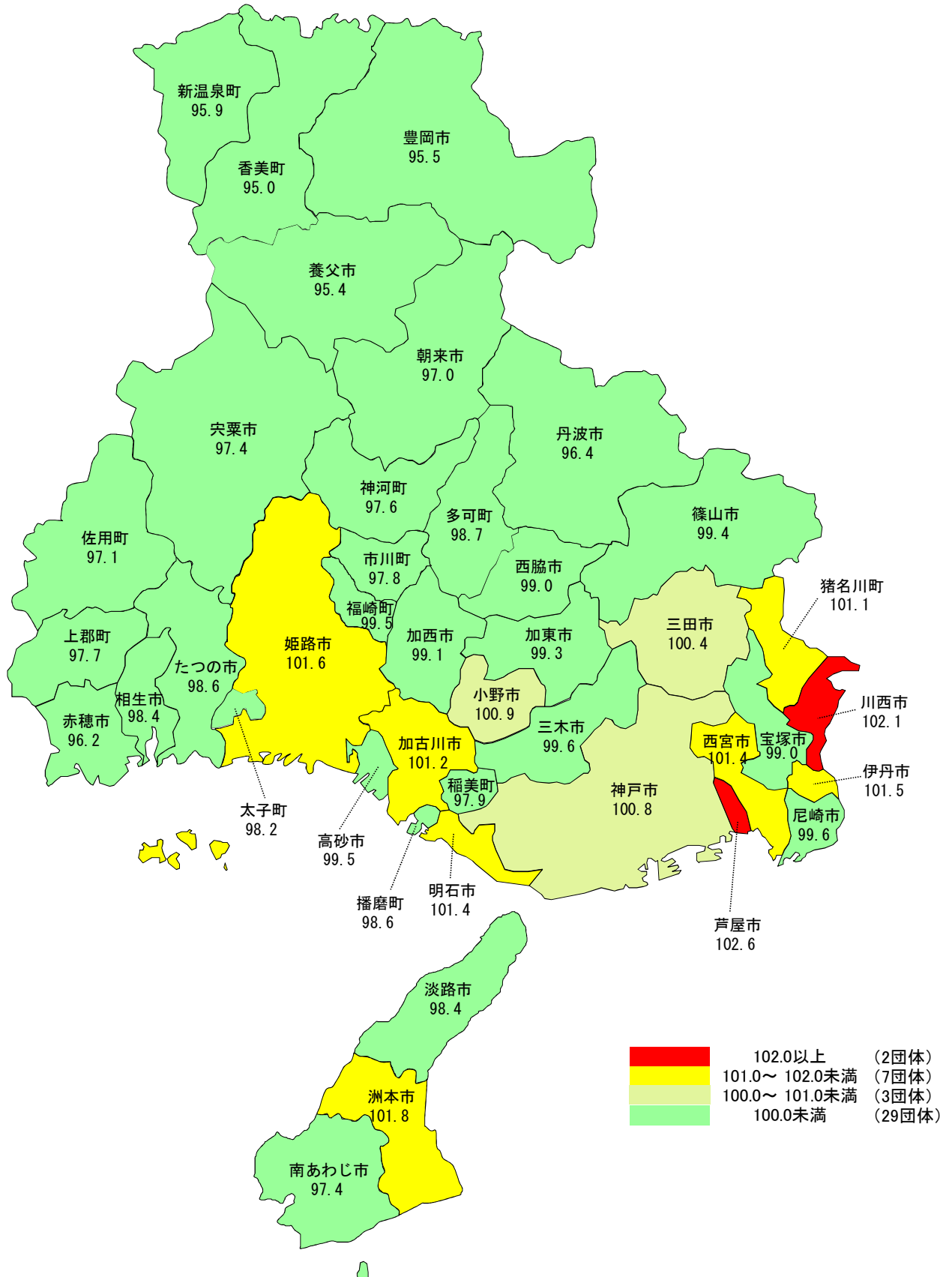
特別徴収実施率の対前年度比較

■前年度からの比率は、39団体で増加した。
 ■最も増加したのは宍粟市(8.5%)。



平成28年度兵庫県内各市町のラスパイレース指数の状況(H28.4.1)

○ラスパイレース指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(102.6)、川西市(102.1)など12市町。
 ○ラスパイレース指数が100.0未満の団体は香美町(95.0)など29市町。

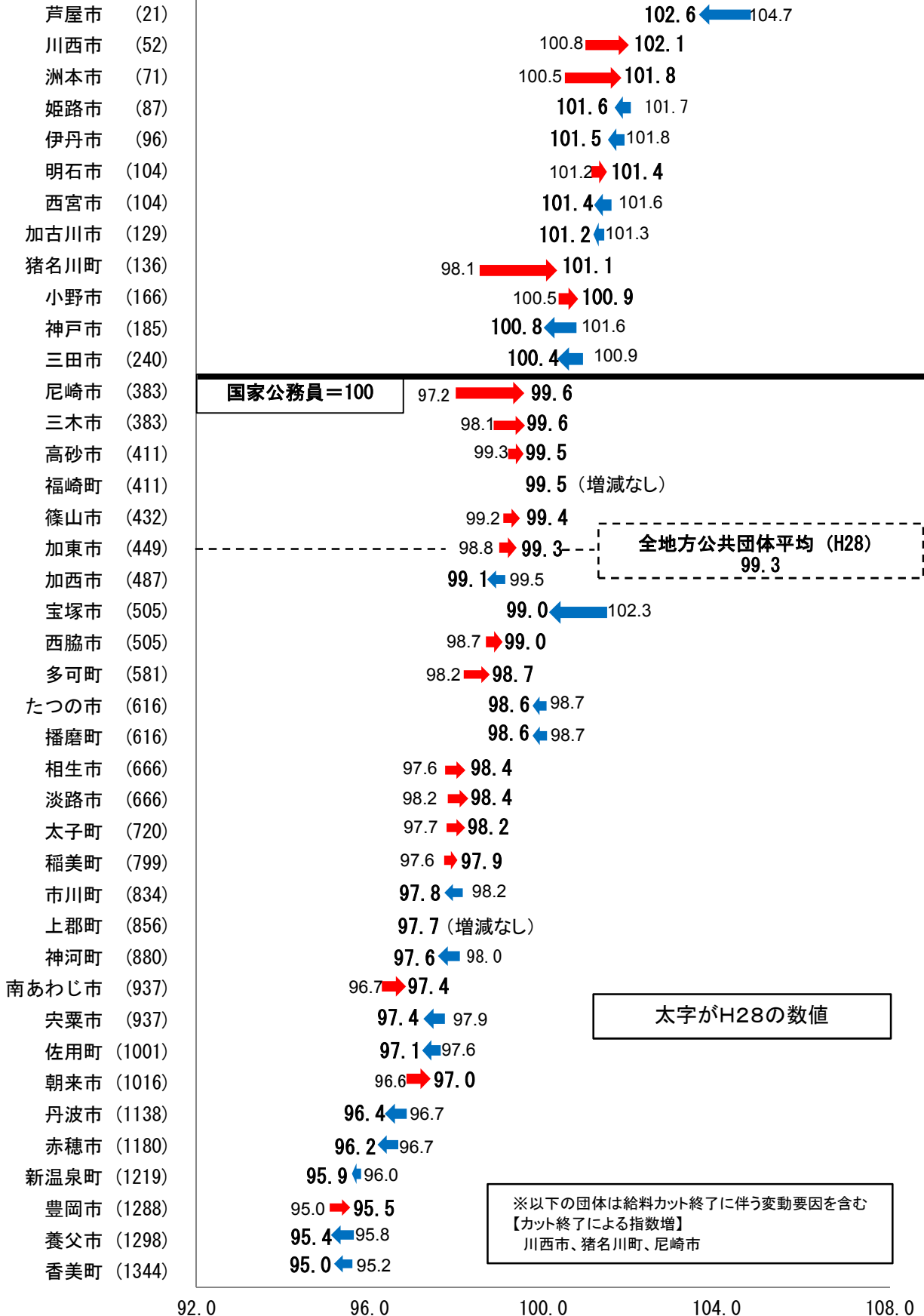


※ ラスパイレース指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

※ 市町名の後の()はH28全国順位

- 前年度から指数が減少したのは20団体、増加したのは19団体
- 100を上回る団体は、前年度と同じ12団体
- 最も増加したのは猪名川町(3.0)

(市区町村の高い順)



平成29年9月
兵庫県企画県民部企画財政局 市町振興課作成

